

播磨西幼稚園

豊かな心と
たくましく生きる力の基礎を育む

人や自然との出会い、ふれあいを通して
感じる・考える・学ぶ

本園では、「いきいきと輝いている子ども」を教育目標に、自然とふれあいながら豊かな体験ができる場の工夫や認め合い、共感する人の存在を大切に考えて取り組んできました。

豊かな直接体験を通して
・生き物とふれあうことで、気持ちが安定し、優しい気持ちになっていきます。
・一人の幼児の気付きから周りの幼児にも興味・関心が広がり、自分なりに考えたり感じたりしながら、人とかかわる力や表現力などが育っています。
・「不思議だな」「どうしてかな」と疑問に思ったことは、実際に調べたり試したりしながら幼児の学びへとつながっています。

保護者や地域との連携から
・親子で自然体験の場を持ったことで、共に感じるうれしさや楽しさを感じました。

・地域のひととのふれあいの中で、いろいろなことを教えてもらって、親しみを感じたり興味が深まったりました。

今後に向けて
幼児が周りの環境に自分からかわり、より豊かな体験ができるよう、教師も幼児と一緒に自然の美しさや変化を敏感に感じ取っていきたく思います。そして、自然から学び、大切にしようとする気持ちを育んでいきたいと考えています。

<http://homepage3.nifty.com/nisyoutien/>



3 青少年の健全な育成に向かう取り組み

青少年の安全・安心の確保と健全な育成の更なる充実を目指して、従来の「少年補導委員」制度を改編するとともに、住民主体のボランティア活動も始められました。(例、さわやかパトロール隊など)

4 学校園教育の更なる充実に向かう取り組み

一人一人の子どもたちに対して確かな「人生のインフラ(基盤)」づくりを基調にした基本計画を立案しています。例えば、広く全幼児を視野に入れての「幼小一貫教育」の具現や子ども一人一人に応じた学習の具現、心の教育をねらいとした読書指導の実践などです。そして、不登校生ゼロを目指す取り組みもより強化し、家庭との連携による指導を進めています。また、学校規模の適正化は継続して検討を重ねています。

5 人権教育の更なる充実に向かう取り組み

学校園教育はもとより住民学習会(いきいきフォーラムを中心として)のより充実を図る取り組みを進めています。

6 生涯スポーツの充実に向かう取り組み

“スポーツクラブ21はりま”のNPO化が実現しました。この支援を強化し、生涯スポーツの基礎づくりとなる「土曜いきいきスポーツ教室」も充実してきました。

7 生活文化高揚に向かう取り組み

“健康フェア”“大中遺跡まつり”など各イベントの企画運営にボランティアの参画がますます多くなり住民の参画と協働の意識がより高まってきていると考えられます。

以上、平成16年度の取り組みの概略をご報告しましたが、詳細は今後このページを活用してご報告いたします。

平成17年度の方向は、年度当初に改めてお知らせいたしますが、当初から皆さまにお願いしています「播磨町の教育は、播磨町のみんなの手で」という信念を通していきたくと思っています。よろしくご理解ご協力をお願いいたします。

新しい時代に向かう
播磨町の教育がスタート

播磨町教育長 大辻 裕彦



昨年6月号の広報でお知らせしましたように、我が国の教育は大きな改革がなされました。また、播磨町の教育環境も変化してきています。全国的に進んでいる少子高齢化が本町でも顕著であることや、都市化という生活環境の変化などです。

このような状況の中で、教育委員会は、播磨町の教育全般の見直しと新たな方向を検討しなければならないと痛感しました。そこで、全住民が将来に夢と生きがいを持ち、自らの人生設計と自ら“住みよいまち・住み続けたいまちづくり”に対して積極的な取り組みに向かうような教育の推進をスタートさせました。それらの取り組みの概略をここにご報告し、次年度の課題設定の基盤にしたいと考えています。

1 「播磨町教育審議会」の経過と成果

当審議会には、国・県の教育改革と教育の地方化の受け止めをもとに「播磨町教育の今後」について検討していただき、公募委員も含め15人の審議委員には延べ16回の審議を重ねてもらいました。教育審議会からは、学校園教育並びに生涯学習のあり方について平成16年度末に答申をいただきます。その内容は今後、広報で紹介していきます。教育委員会は、この答申に基づいて実施計画を立案し実施に移していきます。

2 生涯学習社会の更なる充実を目指す取り組み

本町が既に取り組んでいます事業の見直しをし、新たに教育審議会から示されます方向を見通した先行事業に取り組んでいます。

播磨南中学校

豊かな心を持ち 自ら学び続ける
意欲と力を持つ生徒の育成

本年度の主な取り組み

①基礎・基本の定着
各教科とも、授業の指導計画や評価方法を見直し、指導と評価の一体化を図る取り組みと、英語科においては新学習システムによって、全学年少人数制による指導などで、自ら学ぶ意欲や態度・能力を育成し、基礎・基本の定着を図ってきました。

②自主的な生徒会活動

「Catch & Throw」〜心が通じ合う生徒会〜をテーマに、執行部や各委員会が中心になり、体育大会や文化祭などの行事や挨拶運動・クリーンアップ南中・各種募金活動などに自主的に取り組みました。

③自己実現への挑戦

部活動では、夢に向かって毎日地道な練習に励み、仲間と共に活動する大切さや喜びを味わうと共に、試合や大会などで、練習の成果を遺憾なく発揮することができました。

④地域や家庭からの支援や連携

トライやる・ウィークやPTAの廃品回収・綱引き・マラソン大会のうどん作りなど、地域や保護者の方々のお世話になったり、共に活動することなどを通して、ふだん学校ではできない貴重な体験をし、数多くのことを学びました。

今後、生徒たちの健全育成と自己実現支援のための取り組みを推進します。ご支援・ご協力をお願いします。



播磨小学校

新世紀を主体的かつ創造的に
生きる力を育む教育の推進

本年度の主な取り組み

本校では、未来を主体的かつ創造的に生きていく意欲と力を育む教育を目指し、その基礎となる「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する教育を推進していますが、本年度は、特に次のような教育活動に職員一丸となって取り組んできました。

- 毎日の「BOS (Base Of Study) タイム」で読み・書き・計算などの基礎学力を育成
- 少人数授業や複数指導によりきめ細かな指導を推進
- 情報化・国際化への基礎としてパソコン学習や英語活動を推進
- 校内研修の充実により教師の指導力を向上
- 「豊かな心を育むために」
- 朝の全校読書タイムを充実
- 福祉体験や異文化体験などにより共に生きる豊かな心を育成
- CAPワークシヨップ、震災10年集会などにより命や体を大切にすることを育成
- 「ワーク活動」によりボランティア精神を育成
- 地域の指導ボランティアの皆さまに学ぶ「播磨っ子デイ」により生きる力と感謝の心を育成
- 「健やかな体を育てるために」
- 健康な体をつくるための基本的な生活習慣を確立
- 異年齢集団による「はじまりっ子活動」で体力づくり



本年度も多くの地域の皆さまから温かいご支援をいただき、意義深い教育活動を展開することができました。来年度は更に充実した教育を目指したいと思っております。<http://homepage3.nifty.com/harisyoun>

播磨西小学校

夢きらりかがやかせ☆
とせ「学びをきりひろく」
心豊かで健やかな西っ子

本年度の主な取り組み

○学びの基礎をつくる「のびのびタイム」
子どもたちの日々の学習のスタートが「のびのびタイム」。計算練習や読書活動、音楽表現活動を行い、基礎基本の定着と豊かな表現力を育んでいます。

○ともに学び合っ楽しい学習 ―発見・熱中・感動―
算数的活動を積極的に取り入れた授業を数多く実施。作業的・体験的な活動や探求的な学習を通して、算数の楽しさを味わいながら学びを広めています。

○体験をくぐり、知の総合化を図る「総合的な学習」
西小歴史資料館をつくる
・命の大切さを学ぼう
・住みよい播磨町を目指そう
など各教科や行事と関連付け強化させながら、「生きる力」の資質を培っています。

○自主的な実践力を育む「西小なんでも株式会社」
今までの委員会活動を株式会社として発展。「西小ホームページ株式会社」が念願の校内向けホームページを開発するなど、自主性ややりぬく力が育ってきています。



○心の通い合う「ハッピーフライデー」
金曜日の昼休みはゆったりと40分。運動場で元気に遊んだり、図書室で本を読んだり、友達や先生との大切なふれあいの時間となっています。

来年度に向けて

本校は来年創立30周年を迎えます。子どもたちには、わくわく登校・いきいき学び・にこにこ下校する楽しい学校生活を送り、西小の伝統をしっかり受け継ぎ発展させていこうと願っています。